

Active Instructor

アクティブインストラクター

from 熊本県

五郎丸 ゆかり さん
永井 聡美 さん

今回は、熊本県の(有)玉杵名夢工房“みやの森えがお”の認定サーキットチェアインストラクター五郎丸ゆかりさんと永井聡美さんにお話を聞きました。お二人が所属する“みやの森えがお”は当協会に施設登録をされています。今回は代表取締役の五郎丸勝春さんにもお話をお聞きました。

“みやの森えがお”は平成25年5月に開所した定員10名の小規模通所介護施設です。地域の方の介護予防のお手伝いが出来ればという思いで、体操に特化したデイサービスとして立ち上げました。

体操に特化したサービスを提供するにあたり、代表取締役の五郎丸勝春さんの判断で、きちんとしたエビデンスをもち、安全に運動を行えるチェアエクササイズを取り入れる事になりました。また、複数のスタッフがこの資格を取得し知識を得ることで、指導内容や意識のレベルアップをはかりました。

スタッフ全員のチームワークとレベルアップの為に、 プログラム作成のリーダーは交代制で行います

リーダーが毎回のプログラムの詳細を決定しますが、当施設ではそのリーダーをすべてのスタッフが交代性で行います。スタッフが精神的にリーダー担当を負担に感じる事はありますが、これはスキルアップの通過点であり、その経験が意識向上につながると考えています。



認定サーキットチェア・インストラクターの五郎丸さん(右)と永井さん(左)

リーダー制のメリットとしては、以下の様な事があります。

- ・スタッフ全員がエクササイズを深く知り勉強する事で、初めて、利用者に対し指導する情熱が湧いてくる
- ・スタッフ全員がリーダーをすることで、利用者の注意を引き付ける難しさ等、お互いの大変さを知り、全員でリーダーを助け盛り上げようとするチームワークが生まれる。
- ・リーダーが日々替わる事で、各リーダーのオリジナル・個性を発揮する事ができ、週間プログラムに変化が出せる。

ペースに合わせてプログラムを構成します



サーキットチェアはデイサービスの体操の時間とリハビリ特化型デイサービスに取り入れています。ボールやタオルを利用した体操や頭の体操と合わせてサーキットチェアを行います。教材を活用して、その日の利用者の皆さんのペースに合わせてプログラムを構成します。セミナーで紹介されたように、安全で効果的に体操が出来るようにツール(高さ調整用マットなど)も用意し、運動を楽しみながら行っています。

休まず継続して通われる方は、介護度を維持しておられます。

施設長である五郎丸勝春さんより

サーキットチェアはエビデンスもしっかりしているので、スタッフに基本を理解し自信をもって指導を行うため、資格取得をすすめます。今後も各自がセミナーや講習に積極的に参加し、知識や見識を深め切磋琢磨しながら、指導力を向上させてくれることを期待しています。